

# うらら 2020 年度事業報告

## サービス部門（施設）

事業部門 みずべの苑	年度活動報告	目標値と実績
入居サービス	<p>基本方針</p> <p>1. 安全なケアの提供を方針とし、チームケアの実施と環境の整備を行った。</p> <p>2. 重点課題は<u>緊急時災害対策のもとにサービスを継続して提供する</u>とし、水害時 BCP および感染対策と BCP の体制整備に取り組んだ。</p>	
<p><u>みずべの苑特養</u></p> <p>&lt;重点課題&gt; 「ふつう・あたりまえ」を実践するために、安全を軸においたケアを行うという課題を立て安全なサービスの実施を推進した。</p>	<p>具体的な活動結果</p> <p>① <b>安定したチーム運営により人材を育成し安全なケアを提供する⇒人材の補充が進まず介護職員の確保が困難で派遣職員で賄う結果となった。その中で安全なケアを提供するチーム運営は確保できた。</b></p> <p>② <b>2階・3階にチームリーダーを置き、業務の確実なコントロールを行う⇒業務コントロールにより日常業務を事故なく遂行した。</b></p> <p>③ <b>福祉用具を見直し安全なケアを提供する⇒福祉用具の見直しを行った。座位確保の適切なクッションに変更し使用を管理することにより、ケアが実践できた。</b></p> <p>④ <b><u>緊急時災害対策を行う⇒ 災害（地震・台風）を想定した避難訓練や備蓄の確認は行ったが、発災後のケア提供計画はまだ不十分で継続が必要。緊急事態（感染）新型コロナ対応を年間通して厳重に管理し記録化して継続中。</u></b></p>	<p>目標値と実績</p> <p>① 稼働率 96%⇒95.3%</p> <p>② 介護報酬 255,000 千円⇒261,000 千円（達成率 102%）</p> <p>③ 人件費率 65.4%⇒63%</p> <p>④ 入所者空籍日数 14 日以内 ⇒24.3 日（511 日/24 名） ※入院日数 316 日/13 名 ※退所者数 23 人 （看取り 19 件、医療移 4 件）</p> <p>⑤ 介護職員数 21 名⇒20 名 相談員 1 名⇒1 名 ケアマネジャー 1 名⇒1 名 看護職員（ショート兼務）6.5 名 ⇒6.5 名</p> <p>行政報告苦情 1 件 （入居調整に関する件）</p> <p>行政報告事故 1 件 （夜間帯の骨折事故）</p>
<p><u>みずべの苑</u> <u>ショートステイ</u></p> <p>&lt;重点課題&gt; 定期的に利用することで、在宅生活維持の支援ができる</p>	<p>具体的な活動結果</p> <p>① <b>継続利用者の生活機能維持を目指す⇒ケアの継続を目的にサービスを提供できた。新型コロナ感染の影響は若干あったが、感染予防のために利用を抑制することはなかった。</b></p> <p>② <b>見守りセンサーを設置し活用する</b></p>	<p>目標値と実績</p> <p>① 稼働率 105%⇒94%</p> <p>② 介護報酬 107,000 千円⇒100,034 千円（達成率 93%）</p> <p>③ 人件費率 84%⇒74%</p> <p>④ 介護職員数 11 名⇒11 名 相談員 1 名⇒1 名</p>

<p>ようサービスを提供した。</p>	<p>⇒見守りセンサーをケアに活用できたが、その情報をケアプラン作成に提供するところには至らなかった。</p> <p>③ <b>医療対応希望者数と機能訓練対応者数を確保する⇒現行数を維持できた。</b></p> <p>④ <b>緊急時災害対策を行う⇒災害（地震・台風）を想定した避難訓練や備蓄の確認は行った。発災後のケア提供計画はまだ不十分で継続が必要。緊急事態（感染）新型コロナ対応を年間通して厳重に管理し記録化して継続中。</b></p>	<p>看護職員（特養兼務）6.5名 →6.5名</p> <p>苦情件数 0件 行政報告事故 1件（骨折）</p>
---------------------	---	--

<p>事業部門 在宅サービス</p>	<p>年度活動報告</p>	<p>目標値と実績</p>
<p>訪問サービス</p>	<p>基本方針</p> <p>1. 自立支援に基づいたケアの提供を実施した。</p> <p>2. <b>緊急時災害対策のもとに継続したケアを提供するための体制整備にあたった。</b></p>	
<p><u>みずべの苑ヘルパーステーション</u></p> <p>&lt;重点課題&gt; 常勤職員を充実させるため採用活動を行ったが成果は得られなかったため、現状職員数で業務を維持した。</p>	<p>具体的な活動結果</p> <p>① <b>常勤職員の業務分担を明確にする⇒常勤職員を階層別毎に業務分担ができ業務指示をおこなえた。</b></p> <p>② <b>サービス提供責任者4名に増員⇒増員できず3名で維持したため、訪問登録数は目標に至らなかった。</b></p> <p>③ <b>常勤職員の育成⇒新人職員の1年目の育成は予定とおりに進み、独り立ちして業務を実施できるようになった。サービス提供責任者は適任者の選出および採用ができず育成はできなかった。</b></p> <p>④ <b>緊急時災害対策を行う⇒災害（地震・台風）や緊急事態（感染）が発生した場合の、緊急災害対策計画はBCPの整備は未達。新型コロナ感染対策は予防手順を整備した。</b></p>	<p>目標値と実績</p> <p>① 登録者数 120名 →105名、1000時間 →981時間</p> <p>② 介護報酬 45,000千円 →59,900千円</p> <p>② サービス提供責任者4名 →3名</p> <p>③ 職員数常勤換算 11名 →11名</p> <p>④ 職員会議毎月開催 →必要に応じて短時間で開催</p>

<p><u>うらら訪問看護ステーション</u></p> <p>&lt;重点課題&gt; 訪問看護師の確保のもとに、多職種との連携を行いサービス提供した。</p>	<p>具体的な活動結果</p> <p>① サービス依頼先は現状を維持した。</p> <p>② 訪問看護師の採用は困難で、人材紹介の利用で年度末に2名未経験者の採用になった。実際の指導は次年度となり当年度は採用に費用が嵩み支出増の結果となった。訪問数は当初職員数の維持にとどまり新規依頼に応えることができず計画値は未達となった。</p> <p>③ <u>緊急時災害対策を行う⇒災害（地震・台風）や緊急事態（感染）が発生した場合には、緊急災害対策計画のもとに、サービス継続の対応を行えるように整備をすすめ、さらに継続中。</u></p>	<p>目標値と実績</p> <p>① 登録者数 70名→52名</p> <p>② 介護報酬 38,000千円 →31,167千円</p> <p>③ 看護師・機能訓練 4.1人 →4.3人 (3月より順次2名採用したため、1.5人増となる予定)</p> <p>④ 事務職 0.8人→0.8人</p>
--	--	--

サービス部門（通所サービス）

<p>事業部門 みずべの苑・ あかり家</p>	<p>年度活動報告</p>	<p>目標値と実績</p>
	<p>基本方針</p> <p>1. 稼働率の維持向上</p> <p>2. サービスの質の向上を図りご利用者の満足度を高める</p> <p>3. 職員の介護技術及び認知症ケアスキルを向上させる</p> <p>4. 感染予防に十分に留意する</p>	
<p><u>みずべの苑一般デイサービス</u></p> <p>&lt;重点課題&gt;</p>	<p>具体的活動</p> <p>① 稼働率の維持</p> <p>② 専門性を活かしたサービスの提供と活動の充実</p> <p>③ 研修体制の充実</p> <p>④ 職員の体調管理と環境整備</p>	<p>目標値</p> <p>① 利用者数一日平均34名 →32.4名</p> <p>② ボランティアの積極活用と職員の特性の活用 →コロナ禍により受け入れることができなかった</p> <p>③ 内部研修の継続と外部研修の有効的な参加 →部共同研修は行えず自部署での研修にとどまった</p> <p>④ 健康チェックと消毒・換気の徹底 →年間を通して維持できた</p>
<p><u>みずべの苑認知症デイサービス</u></p>	<p>具体的活動</p> <p>① 稼働率の向上</p>	<p>目標値</p> <p>① 利用者数一日平均17名</p>

<p>&lt;重点課題&gt;</p>	<p>② 認知症進行予防のため生活機能向上プログラムも実施</p> <p>③ 研修体制の充実</p> <p>④ 職員の体調管理と環境整備</p>	<p>→12.5名</p> <p>② 専門職との連携 新たに脳トレを導入定着させた</p> <p>③ 内部研修の継続と外部研修の有効的な参加 →部共同研修は行えず自部署での研修にとどまった</p> <p>④ 健康チェックと消毒・換気の徹底 →年間を通して維持できた</p>
<p>認知症デイサービスあかり家</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p>	<p>具体的活動</p> <p>① 稼働率の向上</p> <p>② 認知症対応サービスの充実</p> <p>③ 職員の体調管理と環境整備</p>	<p>目標値</p> <p>① 利用者数一日平均9名 →6.6名</p> <p>② 外出も含めた多様なサービスの展開 →季節ごとの料理作りなど限定されたサービスとなった</p> <p>③ 健康チェックと消毒・換気の徹底 →年間を通して維持できた</p>

サービス部門（地域密着型サービス）

<p>事業部門 こちら</p>	<p>年度活動報告</p>	<p>目標値と実績</p>
	<p>基本方針</p> <p>1. これまでの生活を継続できるよう、ご利用者の生活に沿った支援ができる職員の育成を行う。</p> <p>2. 緊急時災害対策のもとにサービスを継続して提供する。</p>	
<p>小規模多機能こちら</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p>	<p>具体的活動内容</p> <p>①職員一人一人に沿った目標を持ち職員の育成を行う。</p> <p>②情報の共有を図ることができる。</p>	<p>目標値</p> <p>○職員一人一人の目標作成は、チームリーダーと一緒に考え行動し把握する機会を作る。 ・半年に1回以上実施→年2回実施した</p> <p>○小規模会議を実施し、課題を持</p>

	<p>③稼働率の維持</p> <p>④災害（地震、台風）や緊急事態（感染）が発生した場合には、緊急時災害対策計画のもとに、サービスを継続して提供する。</p>	<p>ちより、一緒に考えより良いサービスに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回→各々のグループ会議</li> </ul> <p>2か月に1回開催した</p> <p>※小規模多機能としての情報共有の場となっているが、まだ不足と感じている。</p> <p>○利用者の請求件数：毎月27名以上</p> <p>→毎月の平均件数：27,6件</p> <p>○緊急時災害対策計画を作成し、計画に沿った防災訓練も実施する。</p> <p>→水害訓練年2回実施した</p> <p>ここの開設以来初めての訓練となり、みずべの苑（特養）への車での移動訓練も行い、移動することの大変さを感じた。今後も回数を重ね課題を小さくしたい。</p> <p>地震訓練年1回実施（3月）</p> <p>火災訓練年1回実施（10月）</p>
<p>グループホームこころ</p> <p>&lt;重点課題&gt;</p>	<p>具体的活動内容</p> <p>① 職員一人一人に沿った目標を持ち職員の育成を行う。</p> <p>②情報の共有を図ることができる。</p>	<p>目標値</p> <p>○職員一人一人の目標作成は、チームリーダーと一緒に考え行動し、把握できる機会を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1回以上実施</li> </ul> <p>→年2回実施した（合同）</p> <p>○グループホーム会議を実施し課題を持ちより、一緒に考えより良いサービスに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回</li> </ul> <p>→年6回実施</p> <p>重度の認知症ケアの困難事例に対して、どうかかわっているのか、情報共有の場となっている。今後も継続して、ケアの統一を図</p>

	<p>③稼働率の維持</p> <p>④災害（地震、台風）や緊急事態（感染）が発生した場合には、緊急時災害対策計画のもとに、サービスを継続して提供する。</p>	<p>りたい。</p> <p>○毎月入居者数：17名 →登録者数は18名を維持したが、入院があり稼働98%</p> <p>○緊急時災害対策計画を作成し、計画に沿った防災訓練実施 →水害訓練年2回実施した（合同）</p> <p>ここら開設以来初めての訓練 地震訓練年1回実施 火災訓練年1回実施</p>
--	---	--

### サービス部門の2020年度重点課題とまとめ

2020年度は介護報酬改定の前年で改定に向けての情報把握の年としました。

2019年度から新たに切迫した事柄として、「緊急時のサービス提供体制のガイドライン」を構築することが喫緊の課題とし、台風等による水害対策と具体的対策を整備し訓練も行いました。被災後の事業継続計画（BCP）の整備が残っています。

1年を通して新型コロナウイルスの対応に追われ、現状に即した対策を行い今後の手順整備につなげています。そのため、行事や外部交流をすべて遮断した形のサービス提供となりました。感染予防対策は現在も継続中で、法人内でコロナウイルス感染によるパンデミック対応マニュアルの作成に落とし込みます。

日々の安全で確実なサービスの提供を推進しながら、「緊急時のサービス提供体制のガイドライン」の整備にあたっています。

外国人の雇用は3月末までに6人となり、全員ベトナム人女性です。専門学校・日本語学校で学び同時に特養とここらでアルバイトしています。うららの寮生は4名で、旧わが家を寮として使い就学・就労の支援を行いました。